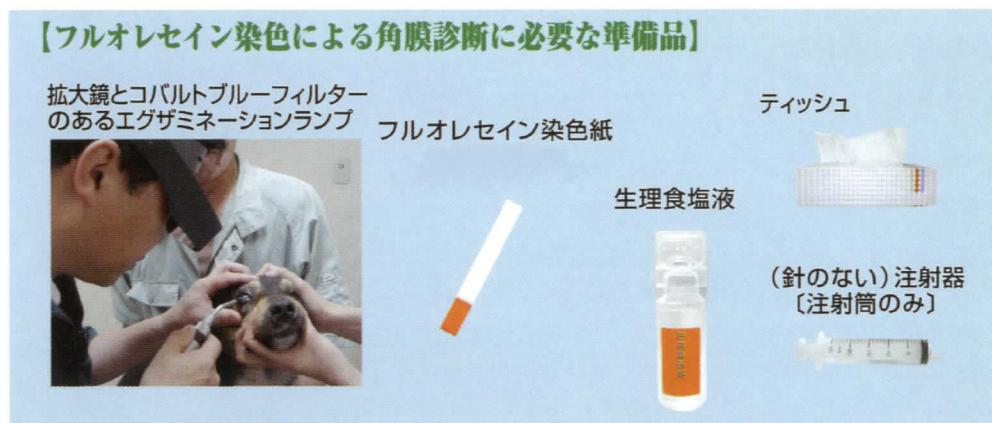


角膜の検査方法

角膜検査のうち「生体染色検査」-フルオレセイン染色-の方法について以下に示します。
フルオレセインは眼科領域では蛍光造影診断用薬物として使用されています。

結膜内に適用したフルオレセインはまばたきにより角膜表面全体に移行して、角膜上皮欠損部は黄緑色に染色され、異物の周囲には緑色環が現れます。暗室にてコバルトブルーフィルターを通した光で照らすと、染色部が鮮明に観察できます。



【角膜疾患に対する視診】

①フルオレセインで染色した角膜所見	②コバルトブルーフィルターで暗室にて見た角膜所見

【診断方法】

①染色前に眼科検査を行う。	②生理食塩液（または人工涙液）1滴をフルオレセイン染色紙へ滴下する。	③フルオレセイン染色紙をイヌの結膜に接触させる。
④角膜表面全体にフルオレセインが移行するように閉瞼させる。	⑤注射筒（針のない注射器）などを使って生理食塩液で洗眼し、余分な染色液を洗い流す。	⑥コバルトブルーフィルターを通した光で照らすと、角膜上皮欠損部の染色部が鮮明に観察できる。